

札幌市営企業調査審議会の答申（概要）

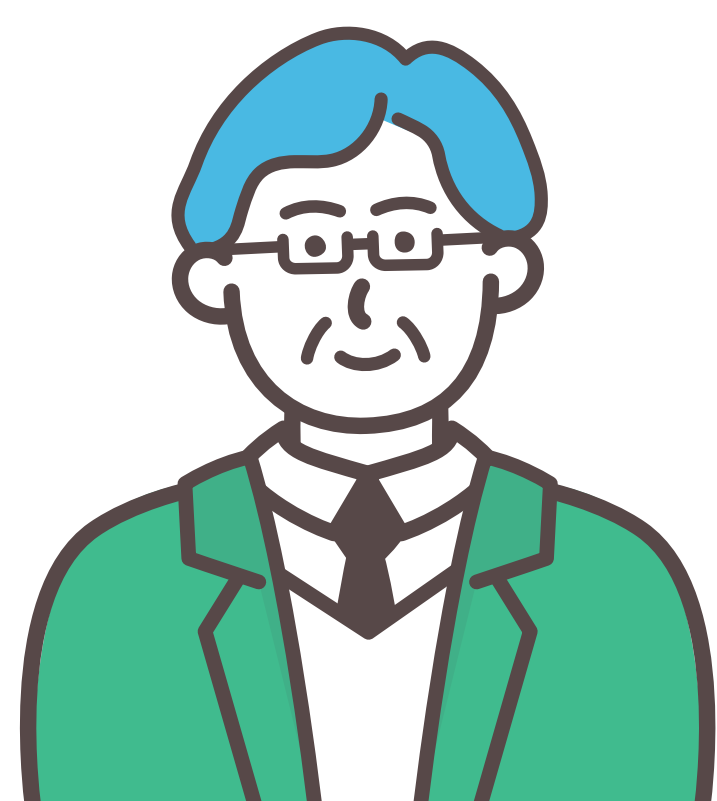


札幌市営企業調査審議会とは

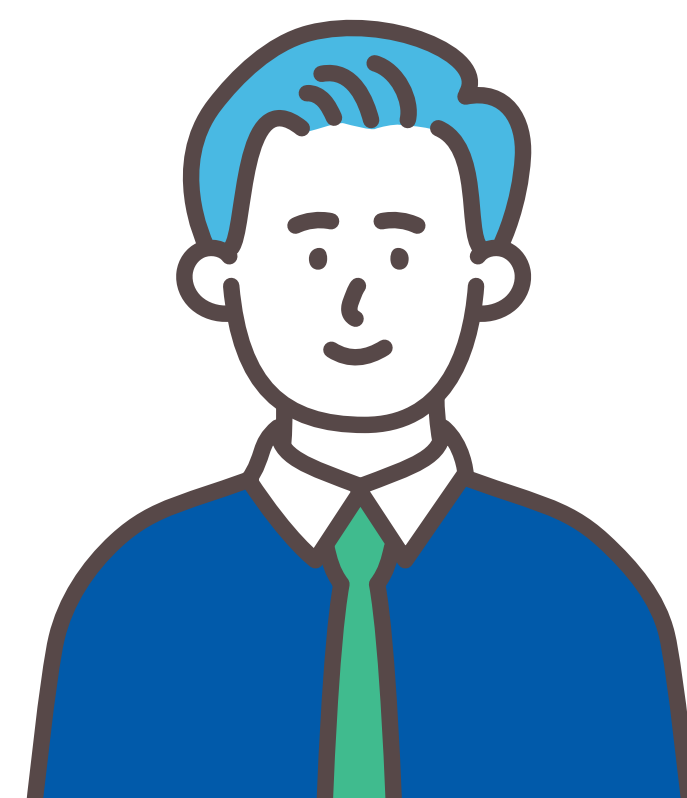
本市の公営企業に関し、運営管理の方針及び財政に関すること等について調査審議するために設置され、委員は、学識経験者や各種団体等からの推薦及び公募の市民委員などで構成されています。

審議会での主なご意見

令和7年3月14日からこれまで計6回にわたり、委員の方々と議論し、様々なご意見をいただきました。ここでは、いただいたご意見の一部を紹介します。



昨今の経済状況や施設の老朽化を踏まえると、一定程度の下水道使用料の見直しは必要と考えます。



下水道使用料の見直しは、使用者の負担を増加させるものであることから、可能な限り改定率の低減を図り、負担に配慮する必要があると思います。

28年間、下水道使用料を改定してこなかった背景には、様々なコスト削減の努力があったと分かりました。



答申の概要

健全経営に向けて、「赤字を出さない」、「かかる経費を収入で賄う」ことが必要であると示され、そのためには、下水道使用料を **23%** 程度改定する必要があるとの答申を受けました。

その他にも、使用料体系のあり方（「基本水量制の廃止」や「逡増度の引き下げ」）についても答申で述べられていますので、詳しくはこちらをチェックしてね

